

## 第278回教員会議・第177回研究科委員会 議事要録

日時：平成30年12月12日(水) 13:30～16:50

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

### 議題

#### 教員会議

#### [ 審議事項 ]

##### 1. 学類長

###### (1) 学類長候補適任者の選出について(投票)

投票に先立ち、学類長候補適格者として選出されていた5名から一言ずつ発言があった。単記無記名の投票が行なわれ、有効投票数43票で、得票数上位2人が学類長候補適任者として選出された。選出経過説明書を添え、学長に報告される。

###### (2) 教員の任用について

###### 1) 教員資格調査委員会からの調査結果の報告について

回収資料に基づき、資格調査委員より、選考の経緯および3名の候補者の業績や模擬授業と面接の様子が説明された。B氏を講師として任用したいという提案が了承された。

###### 2) 採用候補者の決定について(投票)

投票が行なわれ、有効投票数42票・賛成38票・反対4票で、投票数の2/3の賛成を得たため、B氏を講師として任用することが決定した。

###### (3) 学内規則等の改正について

資料1に基づき、様々な学類規則の改正が必要であることが紹介され、核燃料物質計量管理規定の改正についての説明があった。改正案は了承された。

###### (4) 平成31年度の学類運営会議の構成について

現行の学類運営会議内規(資料2)を参考に、改組後の学類運営会議の構成について意見聴取を行なった。3専攻から専攻長・副専攻長の2名が学類運営会議に参加していた現状から、各分野で分野長・副分野長の2名を選挙で選出するが、学類運営会議に参加するのは分野長とする方向性が了承された。分野長が学類運営会議に出席できない場合は、副分野長が代理として出席できるようにすべきとの発言があった。コース制に移行していく途中では、旧組織である専攻単位で運営しなければならない事項があるため、分野長・副分野長の計8名の中から専攻代表者を定める案も紹介され、異論は出なかった。分野という教員組織の名称が大学院教育分野を転用しているようにみえることに違和感があるとの発言があり、用語の定義を整理することとした。

##### 2. 教務委員会

###### (1) 平成30年度非常勤講師計画について

資料3に基づき説明され、了承された。

###### (2) 福島大学共生システム理工学類規程の改正について

資料4に基づき、コース制移行および取得できる資格の拡張に伴う規程の改正案が紹介された。外国人留学生用の基準表が未確定であることや、教員免許取得希望者向けの基準表を規程の外に置いたことなどが説明された。改正の概要について了承され、今後は文言の整理などを行い確定させていくこととした。

##### 3. 入試改革WG

###### (1) 平成33年度入試について

資料5および教育研究評議会報告の回収資料に基づき、全学入試改革WGの検討

状況が紹介され、平成33年度入試の事前予告第2報で公表する予定の事項について説明があった。本学類に関わるものとして個別学力検査で課す科目があり、「地学」を外すことを公表することが提案され、了承された。なお、大学入学共通テストで地学を選択することは可能である。今後、年度末に予定している第3報に向け、配点などの詳細を検討する。

[ 報告事項 ]

1. 学類長

(1) 平成30年度昇給区分該当者について

教授の昇給区分A 3名・同B 8名、准教授の昇給区分A 1名・同B 4名の該当者名が投影され報告された。

2. 学生生活委員会

(1) 学類成績不振学生の調査結果

資料6に基づき、成績不振者の調査結果が報告された。調査範囲を広げたために生じた混乱についてのお詫びがあった。調査範囲を広げた成果として、3名の不振者を早期に抽出できたことが報告された。

3. 共通教育委員会

(1) 平成30年度共通領域科目非常勤講師計画(単発)について

資料7および回収資料に基づき、報告された。

4. 教務委員会

(1) 学生の退学について

資料が投影され、1名の退学が報告された。

(2) 平成31年度共生システム理工学類学習案内について

作成中の学習案内(案)が投影された。次年度から学習案内の一部がWeb化されること、カリキュラムマップを作成予定であること、などが報告された。

(3) 平成31年度新入生ガイダンスについて

資料8に基づき、報告された。

(4) 平成31年1月～4月の行事予定について

資料9に基づき、報告された。

(5) 平成30年度卒業論文の提出について

資料10の内容が掲出されることが報告された。

(6) 第190回教務協議会について

(審議事項)

- ・平成31年度教務関係スケジュール(案)について

資料11のスケジュールが、最終案となる見込みであることが報告された。

- ・平成31年度教職関連科目「教職に関する科目」の全学協力体制について

資料12に基づき、報告された。

- ・「公欠」制度について

資料13に基づき、「公欠」という用語をつかわない方向で継続審議中であることが報告された。スポーツの大会等に参加する際の取り扱いについて発言があった。集中講義をやむを得ない事由で欠席した際の取り扱い(配慮すべきではないか)について発言があった。

(報告事項)

- ・単位互換による特別聴講学生の受入れ及び派遣(後期)について

資料14に基づき報告された。

5. 現代教養コース運営委員会

(1) 現代教養コースの開講計画について

資料15に基づき、平成31年度以降の開講計画の概要が報告された。

6. 財務・施設委員会

(1) 院生発表旅費の配分額超過分の予算に関して

学長裁量経費を用いた院生発表旅費支援の超過額について、教育費からの支出を原則とすることが、理由とともに述べられた。

7. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、共同研究1件・受託研究1件の受入れが報告された。

8. その他

(学類長)

該当者は研究科担当(博士後期の指導)の資格審査申請を行なうよう要請があった。文科省からアンケートの依頼があるので抽出された方は協力するよう要請があった。

(学生生活委員長)

センター試験実施に伴う学生の入構禁止(制限)、日本学生支援機構の奨学金返還免除申請受付に関する掲示が近日中に行なわれる、3月卒業予定者の表彰の推薦受付、以上3件のアナウンスがあった。

(教職課程委員長)

教職課程が認定されたとの報告があり、協力した関係者への感謝が述べられた。

(就職支援委員長)

卒業・修了予定者のLiveCampusでの進路情報の登録を促すように要請があった。

(共通教育委員)

2年生を対象とする共通教育アンケートへの協力依頼があった。

研究科委員会

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 平成30年度修士論文審査委員について

資料16に基づき、45件の修士論文の審査委員について紹介があり、了承された。環境放射能研究所准教授が1件の副査を務めることも了承された。

(2) 福島大学大学院共生システム理工学研究科規程の改正について

資料17に基づき、環境放射能学専攻の設置に伴う改正を行なっていることが説明され、了承された。

(3) 福島大学大学院における他の研究科の授業科目の履修に関する申合せの改正について

資料18に基づき、環境放射能学専攻の設置に伴う改正を行なっていることが説明され、了承された。

(4) 他の研究科で修得した単位の履修基準上の取扱いの改正について

資料19に基づき、環境放射能学専攻の設置に伴う改正を行なっていることが説明され、了承された。

(5) 共生システム理工学研究科における学類授業科目履修に関する取扱要項の改正について

資料20に基づき、コース制を実施することに伴う改正を行なっていることが説明され、了承された。

(6) 優れた研究業績を上げた者の在学期間短縮と早期修了に関する取扱要項の改正について

資料2-1に基づき、環境放射能学専攻の設置に伴う改正を行なっていることが説明され、了承された。

なお、(2)～(6)は条文の整理中であるため、気が付いた点があれば教務委員会に連絡するよう要請があった。

#### [ 報告事項 ]

##### 1. 国際交流センター員

(1) 大学推薦国費留学生の推薦基準の見直しについて

資料2-2に基づき、推薦基準に優先順位を追記することが報告された。学類の私費外国人留学生が大学院に進学することがあるが、優先順位が高くなるように配慮が欲しい旨の発言があった。成績や業績の評価も推薦者の決定に重要であるとの発言があった。これらの意見は国際交流センター運営会議に伝えることとした。

(2) 大使館推薦国費留学生の受入教員リストの作成について

資料2-3に基づき、リスト作成について報告された。どの程度可能性があれば受入可とするのか質問があった。大学のホームページに掲載する場合の影響について、考慮するように要望があった。

##### 2. 教務委員会

(1) 博士論文予備審査結果報告について

資料2-4に基づき、5名の博士後期課程修了予定者の予備審査結果が報告された。予備審査の主査(主査が欠席の1名分は副査)が、審査および審査結果の概要を説明した。5名とも本審査に進む。

(2) 平成31年度新入生ガイダンスについて

資料8に基づき報告された。

(3) 平成31年1月～4月の行事予定について

資料9に基づき報告された。

(4) 平成31年度共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻学習案内について

作成中の学習案内(案)が投影され、分野の再編や成績標語の改定に伴う変更作業を行なっていることが報告された。

#### 教育研究評議会

第311回(11月20日開催)報告

##### [ 審議事項 ]

(1) 「主体性等評価の方法」及び「英語『資格・検定試験』の加点方法」について(回収資料)

回収資料に基づき、12月下旬に予定されている事前予告第2報に関する内容について報告された。公表前に内容が学外に漏れることの無いようにとの注意喚起があった。

#### 運営会議

第117回(12月11日開催)報告

(1) 物品の一時使用内規の制定について

外部機関などが物品を一時使用する際の内規が定められた。食農学類の設備で適用予定のものがある。

- ( 2 ) 平成 3 0 年度各基金の収支状況 ( 1 1 月末現在 ) について  
基金の状況が報告された。
  - ( 3 ) 【注意喚起】公費で購入した図書等のデジタルデータ化について  
デジタルデータ化( 自炊行為 ) を外部に委託することの無いよう、注意喚起された。
  - ( 4 ) 福島市産官学連携プラットフォームプロジェクトチームについて  
福島市の私立大学が中心となっていけない本学も協力するプロジェクトについて報告があった。
  - ( 5 ) その他
    - 1 1 月の電気・ガス・水道の使用量について  
使用量について報告された。例年 1 月の電気使用量が多いので、節電するよう要請があった。
- 1 2 月 1 3 日に大学改革セミナーが開催されることが紹介され、参加が呼びかけられた。